

資料2 刀銘 兼定 刃長71. 2糎 反り2. 3糎

鑄造、庵棟、鑄やや高く、細身ながら元先の幅差が大きく、反り深い太刀姿。

鍛 板目よく練れて刃寄り流れ、刃寄りに鮮明な直ぐ映りが立ち、その上に地斑映りが重なり、物打ち辺りは乱れ映りと変化する。  
刃文 匂い出来の細直刃、腰元に鼠足が掛かり、表裏とも物打ちに節刃を一つ置く。  
帽子 直ぐに先中丸となり、素直に返り、倒れる。

